

No. 16-82

2016年11月14日
エーザイ株式会社

2016年 医薬品アクセス貢献度調査(ATM インデックス)の結果について

エーザイ株式会社(本社:東京都、代表執行役 CEO:内藤晴夫)は、このたび、2016年 医薬品アクセス貢献度調査(Access to Medicine Index、以下 ATM インデックス)において、当社の医薬品アクセスを推進する取り組みが高く評価され、グローバル大手製薬企業の中で 11 位にランキングされたことをお知らせします。

ATM インデックスは、医薬品アクセスの改善をめざす国際的な非営利団体である「医薬品アクセス財団」(Access to Medicine Foundation)が実施する調査です。開発途上国・新興国の医薬品アクセス問題に先進的に取り組むグローバル大手製薬企業 20 社について、当インデックスで対象とする疾患・国における活動を公知情報および各社へのアンケートにて評価し、企業の順位付けを行うものです。2008 年以来、2 年毎に評価レポートが発行されています。

当社は、今回の ATM インデックスにおいて、医薬品アクセスを推進する「マネジメント体制」、「コンプライアンス」、「新薬開発」および「医薬品の寄付や慈善活動」の 4 つのカテゴリーにおいて、調査対象のグローバル大手製薬企業 20 社の平均を上回る評価を得ました。

具体的には、世界保健機関(WHO)との協力のもと、リンパ系フィラリア症治療薬「ジエチルカルバマジン(DEC)」22 億錠を 2013 年から 7 年間にわたって蔓延国に無償提供する取り組みが高く評価されました。さらに、パートナーシップを活用し、顧みられない熱帯病(NTDs)やマラリア、結核に対する新薬の研究開発を加速する戦略、ならびに世界中の社員が就業時間の 1%を用いて患者様と共に過ごし、患者様価値の創出につなげる取り組みが、ベスト・プラクティスとして評価されました。

当社は、ヒューマンヘルスケア(hhc)理念のもと、グローバルでの医薬品アクセス改善に向け、政府や国際機関、非営利民間団体などと積極的なパートナーシップを構築しています。当社は、これらパートナーシップを通じて開発途上国・新興国で蔓延する感染症などに対する新薬の開発を加速するとともに、現地における疾患啓発、ならびに所得に応じた価格設定の導入など、医薬品アクセスの改善に向けた活動に長期的かつ持続的に取り組んでまいります。

2016 年 ATM インデックスの結果発表の詳細について下記リンクをご覧ください(英語のみ)。

<http://www.atmindex.org/>

以上

参考資料

1. 医薬品アクセス財団について

「医薬品アクセス財団」は、医薬品へのアクセス向上に取り組む、国際的な非営利組織です。オランダを地盤とする当財団は、医薬品アクセス貢献度調査(Access to Medicine Index、以下 ATM インデックス)レポートを発行しています。

2. 医薬品アクセス貢献度調査(ATM インデックス)について

ATM インデックスは、個々の製薬企業の医薬品アクセスに対する取り組みについて、製薬企業、投資家、政府機関、教育機関や非政府組織に公平かつ信頼性の高い情報を提供することを目的として行なわれている調査で、2008 年以來 2 年毎に調査レポートが発行されています。

ATM インデックスでは、医薬品アクセスを推進する「マネジメント体制」、「コンプライアンス」、開発途上国・新興国で課題となっている疾患に対する「新薬開発」、「価格政策」、「知的財産に関するポリシー」、「医薬品開発・製造技術確立への支援」や「医薬品の寄付や慈善活動」の 7 つのカテゴリーについて、それぞれコミットメント、透明性、実績、イノベーションの 4 つの側面から総合的に評価しています。調査対象となっている医薬品アクセス問題において、先進的なグローバル製薬企業上位 20 社のそれぞれの実績に基づいて、各企業の平均的なスコアを計算し、企業の順位付けを行っています。

3. 当社の医薬品アクセスへの取り組みについて

当社は、ヒューマンヘルスケア理念(*hhc*)に基づき、各国政府や国際機関、民間企業や非営利団体などとの協力のもと、世界における医薬品アクセス改善に向けて中長期的視点に立った取り組みを展開しています。その一環として、国際官民パートナーシップ「ロンドン宣言」に参画して、リンパ系フィラリア症を 2020 年までに制圧すべく世界保健機関(WHO)の制圧プログラムを支援し、2013 年から 7 年間にわたって治療薬ジェチルカルバマジン(DEC)を蔓延国の感染リスクにさらされている 2.5 億人の人々に向けて提供していくことを約束しています。2016 年 11 月現在、25 カ国¹に 8.5 億錠を提供しています。

当社は、新薬開発においても Drugs for Neglected Diseases *initiative* (DND*i*)、Medicines for Malaria Venture (MMV) やセービンワクチン研究所などの国際的な非営利団体、あるいは Liverpool School of Tropical Medicine、セントジュード小児研究病院やブロード研究所などの研究施設とのパートナーシップにより、シャーガス病や、リンパ系フィラリア症などの顧みられない熱帯病(NTDs)やマラリアに対する新薬開発を進めています。

さらに、日本発の新薬創出によるグローバルヘルスへの貢献をめざす公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金(Global Health Innovative Technology Fund、GHIT Fund) や結核に対する革新的な創薬をめざす「Tuberculosis Drug Accelerator」(TBDA) パートナーシップに参画しています。当社の医薬品アクセスへの取り組みの詳細は、当社サイト「医薬品アクセス」<http://www.eisai.co.jp/company/atm/index.html> をご覧ください。

¹ インド、インドネシア、エリトリア、ガイアナ、キリバス、ケニア、コロモ、サモア、サントメ・プリンシペ、ザンビア、ジンバブエ、スリランカ、ツバル、ドミニカ共和国、ハイチ、パプアニューギニア、東ティモール、フィジー、フィリピン、フランス領ポリネシア、マダガスカル、マレーシア、ミクロネシア、ミャンマー、ラオス